

平成30年度避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査対象等

- (1) 東日本大震災により山形県内に避難されている 702 世帯
- (2) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間：平成 30 年 7 月上旬～7 月下旬
- (4) 集 計 数：200 件 (H29：176 件)
- (5) 回 収 率：28.5% (H29：24.3%)

2 調査結果のポイント

- (1) 家族状況は、「母子のみ避難」が前年の 23.9%から 20.5%となり、割合は年々低下
- (2) 山形での生活について、困っていること・不安なことは、「生活資金」が最多
 - ・困っていること・不安なことは、①「生活資金 (64.0%)」、②「健康 (49.0%)」、③「住まい (40.5%)」の順で、いずれも 4 割を超える。
 - ・生活資金の収入源については、①「避難者の給料や賃金 (61.0%)」、②「貯金 (33.0%)」、③「年金 (28.0%)」、④「避難元の家族の給料や仕送り (22.0%)」の順。
- (3) 今後の生活の予定については、「もうしばらく山形県で生活したい」が 43.5%で最多、「山形県に定住したい」が 30.0%で、合計、7 割強の方が山形県に留まりたい意向
 - ・今後の予定については、①「もうしばらく山形県で生活したい (43.5%)」、②「山形県に定住したい (30.0%)」、③「どこで生活するか未定 (16.0%)」、④「避難元の県に戻って生活したい (7.5%)」の順。
 - ・避難期間の見通しは、「子供の入学、入園や卒業、卒園まで (31.4%)」が最多。
 - ・避難元の県へ帰還する場合に心配なことは、①「仕事のこと (46.3%)」、②「放射線の影響のこと (44.8%)」並んで③「生活資金のこと (44.8%)」の順。
- (4) 約 7 割の避難者が心身に何らかの不調
 - ・心身の不調が「特にない」方は 22.5%、無回答は 7.0%で、約 7 割の方が心身に何らかの不調を抱えている。
 - ・①「疲れやすく体がだるい (39.0%)」が最多で、以下、②「イライラする (25.5%)」、③「よく眠れない (22.5%)」④「孤独を感じる (20.5%)」と心の不調に関する項目が続く。
- (5) 子どもを持つ親の半数以上は「子どもの進学や進路が心配」
 - ・教育や子育てで困っていることは、①「子どもの進学や進路が心配 (52.3%)」、②「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい (36.9%)」と続く。
- (6) 主に生計を支えている方の約 7 割は現在就業している
 - ・県内の就職で困っていることは、①「賃金が低い (28.0%)」が最多で、次に、②「希望する業種・職種の求人が少ない (18.0%)」。
- (7) 県、市町村、ボランティア団体等による避難者支援は、7 割が評価
 - ・今後、県内で期待する支援は、①「住宅に関すること (36.0%)」、②「生活情報の提供の充実 (25.0%)」、③「生活資金についての相談 (22.0%)」の順。